

9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1

昔とくうらふ本と鳥もさぬの巻が  
梅の枝うめつちふ明のこま  
梅言ふもてこつんのゆ日ふ  
まらふふらふあつあつ心奪か  
こゝ柳の枝もさゆれ氣うふ  
平市信機やるとこけて初伎  
ん川田の出を唐うらねの自ひか  
明ゆらり里の御やハをさ  
黄きりのあもはさる日わが  
まら色ゆの枝を向くをの上  
松崎ゆ吐き困坂書や物物  
まらや白葉してある雀の足

月仙  
梅之  
子山  
鶴巢  
鹿山  
園月  
畫專  
一死  
閑山  
畫月  
龜流



登山  
畫

り院と程くも水乃ふうま  
枝甲ふうらふ小口や内と毒  
流もはははははははははは  
まらまらまらまらまらまら  
梅あふふあふあふあふあふ  
は葉の老まらまらまらまら  
まらまら日あくふあうの  
えおやああああああああ  
あひくふ連のまらまらあ  
あまらふふああああああ

挂村  
梅月  
松崎  
岡月  
松香  
噴山  
梅谷  
傳山  
再龜  
九起

甲戌のける

